

第6回 村上市歴史的風致維持向上協議会 議事録（概要）

会議名	第6回 村上市歴史的風致維持向上協議会
日時	令和4年3月7日（月）9：30～11：30
会場	村上市教育情報センター会議室A・B（2階）
出席者	<p>【委員】 西村会長、岡崎副会長、大竹委員、川崎委員、益田委員、川上委員、吉川委員、近藤委員、船山委員、石井委員、江端委員、佐藤委員、板垣委員、鈴木(清)委員、石田委員、鈴木(良)委員、大滝委員 ※欠席 大場委員、中山委員、清水委員</p> <p>【オブザーバー】 ※欠席 国土交通省北陸地方整備局 前田調整官</p> <p>【事務局】 高橋市長 都市計画課：大西課長、小野参事、風間課長補佐、野澤(大)主査、山田主任、師尾技師 生涯学習課：吉井課長補佐、竹内副参事</p>
内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 会長挨拶 3. 出席委員報告 4. 市長挨拶 5. 新任委員報告 6. 報告 <ol style="list-style-type: none"> (1) 歴史まちづくりに関する取り組み状況について 資料1-1及び資料1-2にて説明 ※議事概要については、下記のとおり。 7. 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 今後の歴史まちづくりに関する取り組みについて 資料2にて説明 ※議事概要については、下記のとおり。 (2) 歴史的風致維持向上計画の変更について 資料3-1、資料3-2及び資料3-3にて説明 →変更計画（原案）のとおり承認。 8. その他 9. 閉会
議事概要	
<p>■報告(1)について</p> <p>●歴史的風致形成店舗認定制度について、認定された店舗からはどういった反応があるのか。(岡崎副会長) →ガイドブックでPRしてもらえて嬉しいというお話とともに、店主がその店に関わる村上の歴史についての説明ができるような、知識を深める取り組みなど、標識を配るだけでなく、様々な取り組みをして欲しいとの言葉をいただいている。(事務局) →歴史的風致形成店舗認定制度のような取り組みは、他にはないユニークなものであり、ここまで努力しているところはないので、注目されていると思う。色んなことの実理解を深めたいという、店舗側の話があると次に繋がるので、こういう方々をサポートするということを全市的に工夫するべきである。(西村会長)</p> <p>●資料1-2は、歴史まちづくりに関して、他の課も含めた全体の取り組みがひとまとめになっており、この資料が蓄積されることで、村上市の歴史まちづくりがどのように進んできたかわかるとともに、これから歴史まちづくりに取り組む自治体の参考にもなる良いものである。(西村会長)</p> <p>●資料1-2のスライド10 景観形成助成金事業の写真をみると問題なく見えるが、この建物の隣は空き家になっており、老朽化が進んでいる。この写真の建物所有者も倒れてくるのではないかと心配しており、何とかならないかと思っている。(佐藤委員)</p>	

→空き家対策については、積極的に取り組むこととしている。空き家があることにより、全体の景観を損なうということを踏まえ、空き家を解体するのか、リフォームして新しい所有者に継承していくのか、どのような対応が良いのか、議論を進めながら、町並みを守っていききたい。ご指摘のあった部分についても、取り組みを進めていく。(高橋市長)

●私は、春の庭百景めぐりの会をやっているひとりであり、また5月に開催したいと思っているが、予算面で厳しい状態にある。町屋の人形さま巡りや町屋の屏風まつりは、構成メンバーが商家であるため、会費があるが、春の庭百景めぐりでは一般の家や寺に参加いただいているため、会費を集めることができない。イベント開催に関わる予算面の補助を検討するべきである。(益田委員)

→関係する課に情報共有する。(事務局)

(追記) 現在、観光課で観光イベント補助金の内容の再検討が行われており、動きがあり次第、情報提供する。

●歴史的風致形成建造物の指定に関する建築年代調査について、歴史的風致形成建造物の指定提案があった場合でも、予算の制約で実施できないことがあると思うが、融通をきかせてなんとか実施することはできないか。(吉川委員)

→前年度の予算編成時に、指定を希望されるところがすべてわかれば、正確な予算計上ができるが、そうでなければ、流用などでの対応となり難しくなるが、最大限調整する。(事務局)

→基金などを活用していくことも必要かと考えている。臨機応変に対応できるよう、今後財政的な手法を研究・検討する。(高橋市長)

●県道村上停車場線の無電柱化について、県ではどのような見通しで考えているか。(川上委員)

→※村上地域振興局地域整備部鈴木清悦委員が公務のため退席された後であったため、事務局が回答。

現在、村上地域振興局地域整備部により、無電柱化の説明会が開催されている。大町、小町の役員を対象として、今後取り組んでいけるのかも含めて概略的なところを説明しており、今後商工会や大町、小町の住民全体を対象に説明会を行っていき、方針を決定する予定である。(事務局)

■議事(1)について

●外観修景事業の区域外で、県の木づかい事業を活用して修理した建物があつたが、市でもこのような制度をPRするべきである。(吉川委員)

→事業区域外で外観修景を行う建造物所有者についても、自己負担が少なくなるように活用できる制度の紹介を行う。(事務局)

●歴史的風致形成店舗に認定されている店舗が多くあるが、経営を継続していくのに厳しい状況にある店舗もある。これらのお店を維持していくための良い方策はないか。(川崎委員)

→都市計画課で対応できるメニューはない状況であるが、今回のご意見は関係する課に情報提供する。

(事務局)

●県道村上停車場線の無電柱化について、先日、県の説明会があつたが、小町の無電柱化は道路幅が狭くて難しく、説明を聞いた印象では無理であるような言い方だった。歴まち計画ができてから無電柱化は実施されるものと思っていたが、県の説明会では、参加者から時間のかかる無電柱化よりも、早期に実施できる無電柱化以外の道路整備で良いという意見がでていた。私としては、魅力ある町を後世に残していくための最後のチャンスだと思っているので、長い時間がかかっても無電柱化に取り組んでもらいたい。(近藤委員)

→説明を直接聞いていないため、詳しい事情は把握していないが、全国で無電柱化を実施しているところと比較して小町の道路幅が狭いとは言えず、事例を研究すれば方法はあると思う。(岡崎副会長)

→県道村上停車場線の都市計画道路を廃止しても、何もしないという話ではないはずで、村上の歴史を守るといふ考えのもと、量ではなく、質の部分でレベルアップする道路整備をしようという話であつた。もちろん、通行止めなど不都合が生じる場所は、地元で考えないといけないが、無電柱化をやるべきだということは、協議会としても、市からも、常に言い続ける必要がある。(西村会長)

→市も県の説明会には、同席しており、市としてはもちろん無電柱化を実施いただきたいという思いでいる。県も無電柱化ができないというわけではなく、無電柱化にあたり、予算の面や、道路を通行止めにする必要があるなど課題が多く、地元の意向はどうなのか、確認を行っている。これからも説明会を開催する予定であると聞いているので、地域住民皆様のご意見をいただきたい。(事務局)

●新型コロナウイルスの影響により観光客が少なく、村上市が歴史まちづくりを始めてからそこまで経っていないこともあり、村上の認知度は高くないが、10年20年続いていくと、認知度が上がり、町並みがきれいになって観光客も増えていく。今は厳しいかもしれないが、ここで頑張れば、将来的には状況が変わると思われる。また、観光客が増えてきたとき、県外から村上のことを知らない事業者が進出してくることが予想され、そうなると地元でコントロールが効かなくなることが想定される。今のうちに村上の産品を取り扱うなどの協定やルールを作り、地元でコントロールできるように取り組むべきである。(岡崎副会長)

●資料2スライドの2枚目、3枚目について、赤字の部分と黒字の部分があるが、なぜ色が違うのか。
(西村会長)

→赤字の部分については、力を入れて取り組ませていただく部分を示している。(事務局)

●資料2について、歴まち計画の22事業とどのように関わりがあるのか、どの取り組みが新しく動き出したのか、この資料からは読み取れないので、工夫が必要である。(西村会長)

→来年度以降、22事業との関わり等分かりやすいよう工夫し、資料を作成する。(事務局)

■議事(2)について

変更計画(原案)のとおり承認。

■その他について

●会議資料について、縦方向の資料と横方向の資料が混在しているが、印刷方向を統一したほうが見やすいのではないかと。また、PPTの資料はA4一枚に対して、スライド4枚が印刷されており文字が見にくい。印刷枚数は増えるだろうが、A4一枚に対して、スライド2枚の印刷であれば見やすいのではないかと。(川上委員)

→来年度以降の資料作成の参考にさせていただき、見やすい資料作りに努める。(事務局)